
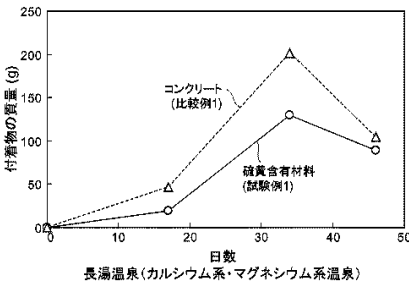
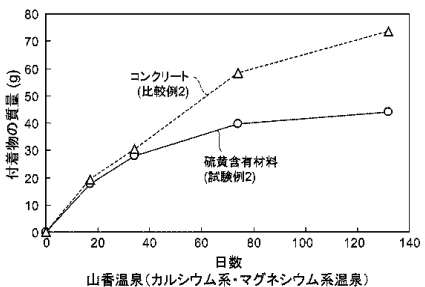


<b>発 明 の 名 称</b> スケール付着抑制方法及びこれに用いる硫黄含有材料		
<b>技 術 分 野</b> <input type="checkbox"/> 電機・電子 <input type="checkbox"/> 情報・通信 <input type="checkbox"/> 有機材料 <input type="checkbox"/> 金属材料 <input type="checkbox"/> 食品・バイオ <input type="checkbox"/> 土木・建築 <input type="checkbox"/> 農林・畜水産 <input type="checkbox"/> その他( )	<input type="checkbox"/> 機械・加工 <input type="checkbox"/> 化学・薬品 <input checked="" type="checkbox"/> 無機材料 <input type="checkbox"/> 輸送 <input type="checkbox"/> 生活・文化 <input type="checkbox"/> 繊維・紙 <input type="checkbox"/> 医療・介護	<b>利用分野・適用製品</b> ・温泉施設におけるスケール付着抑制方法とその材料 ・
<b>従来技術の課題・問題点等</b> 温泉に含まれるカルシウム、マグネシウム、シリカなどの成分は、種々の効能をもたらす反面、流路や貯槽におけるスケール付着の原因となる。温泉施設では流路などの内面に付着したスケールを除去するため、定期的に清掃作業を実施している。スケールを十分に除去するのに工具や酸などの薬剤を使用しなければならない場合もあり、かかる作業によって流路が傷んだり、腐食したりする恐れがあった。		
<b>本発明により解決したポイント</b> このスケール付着抑制方法は、カルシウム系温泉及び／又はマグネシウム系温泉が接触する流路又は貯槽の内面を、硫黄及び骨材を含む原料組成物を熔融させた後に固化させて得られる硫黄含有材料によって形成することを特徴とする。温泉成分に由来するスケールが流路又は貯槽の内面に付着するのを抑制できるのみならず、仮にスケールが付着したとしても、これを容易に取り除くことができる。		
<b>技術の概要(構造・動作等)</b> カルシウム系温泉及び／又はマグネシウム系温泉が接触する流路又は貯槽の内面を硫黄含有材料によって形成する。流路等の内面を硫黄含有材料で形成するには、例えば、流路を硫黄含有材料からなるU字溝型の建材によって構築してもよい。あるいは、コンクリート等の建造物の表面を硫黄含有材料でコーティングしてもよい。硫黄含有材料のコーティングは、例えば、吹付け等によって実施できる。なお、カルシウム系温泉及び／又はマグネシウム系温泉にあっては、温泉と空気との界面付近にスケール付着が特に生じやすいため、流路又は貯槽の当該領域に硫黄含有材料を配置するとより一層効果的である。		
<b>図・写真・特記事項等</b>		
		
硫黄固化体製のU字溝にはスケール付着が少ない！	硫黄固化体への付着量は、コンクリートの場合の41～85％	硫黄固化体への付着量は、コンクリートの場合の60～93％
<b>特 許 情 報</b> 登録番号/公開番号: 特許第 5309390 号 出 願 日: 平成 20 年 7 月 1 日 (2008 年) 登 録 日: 平成 25 年 7 月 12 日 (2013 年) 権利者/出願人: 大分県		<b>関 連 特 許 情 報</b> 登録番号/発明の名称: